

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">解剖学</p>	<p>対象学科・学年 薬学部薬学1年生</p>	<p>担当者 雪村 時人 田中 静吾</p>
<p>授業テーマ ヒトの成り立ち</p>		
<p>授業の概要と目標 先ず概論においてヒトの臓器の名称、形態および体内の位置と各臓器の役割分担について概説します。次いで臓器ごとに構造と機能を説明します。授業を通じて「人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。」ことを一般目標とします。 (日本薬学会モデルコアカリキュラム C8 (1) 「ヒトの成り立ち」に対応、一部 A (1) 「生と死」に対応)</p>		
<p>評価方法 期末試験およびその他 (出席など) により評価します。</p>		
<p>テキスト 入門人体解剖学</p>	<p>著者 藤田 恒夫</p>	<p>出版社 南江堂</p>
<p>参考書 スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学 I 生命体の成り立ち</p>	<p>著者 日本薬学会編</p>	<p>出版社 東京化学同人</p>
<p>授業スケジュール・内容 以下に示す解剖学の基本項目に関する知識の修得を、各回の授業での到達目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (概論) ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。 ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。 * ヒトの発生について説明できる * ヒトの身体構造を理解することの意義と、生命の尊さについて説明できる 2. (神経系I) 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。 * 脳・脊髄の局所症状について説明できる 3. (神経系II) 体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。 4. (神経系III) 自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。 * 神経系の発生と進化について説明できる 5. (骨格・筋肉・皮膚) 主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。 主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。 皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。 6. (循環器系 I) 心臓の構造と血液の流れを説明できる 刺激伝導系の構造を機能と関連づけて説明できる 冠動脈について機能と構造を関連づけて説明できる 7. (循環器系 II) 血管のミクロの構造を機能と関連づけて説明できる 大動脈の枝をあげ、どの臓器を栄養するか説明できる 主要な静脈をあげ、どの臓器から血液を集めるか説明できる 胎児の循環系を説明できる 8. (循環器系III) リンパ系の構造と機能に関する基本的知識を修得する (血液・造血器系) 骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる 9. (呼吸器系) 気道の構造を吸気の流入に沿って説明できる 気管支について機能と構造を関連づけて説明できる 肺について機能と構造を関連づけて説明できる 		

- | | |
|------------|--|
| 10. (消化器系) | 消化管の機能と構造を食物の輸送に沿って説明できる
胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる
消化管の外分泌腺の構造を機能と関連づけて説明できる
肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる
生成された胆汁の循環を説明できる |
| 11. (泌尿器系) | 腎臓について機能と構造を関連づけて説明できる
ネフロン構造と機能を説明できる
尿路について機能と構造を関連づけて説明できる |
| 12. (生殖器系) | 精巣について機能と構造を関連づけて説明できる
精路と附属腺の構造を説明できる
卵巣について機能と構造を関連づけて説明できる
子宮について機能と構造を関連づけて説明できる
卵巣と子宮について月経周期と関連づけて説明できる |
| 13. (内分泌系) | 脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。
内分泌系臓器から分泌されるホルモンを列挙できる |
| 14. (感覚器系) | 眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。
視覚と聴覚の伝導路を説明できる
体性知覚の伝導路を説明できる |
| 15. (まとめ) | 期末試験をおこないます |